

ア라운드 GOGO 55

55歳の

LINE(ライン)騒動

別府悦子



私事で恐縮だが、この6月に人工股関節手術を受けるために入院をした。急なことだったので、講義の代替が一部

人や卒業生が岐阜全国大会のボランティアや参加をしてくれる、という思わぬ副産物を得られることにもなった。

うまくいかず、Skype(スカイプ)を使った遠隔の講義をし、連絡は学生の提案によりLINEで行うことになった。その設定を学生にやってもらったところ、突然スマートフォン画面が動きだし、今まで連絡のなかった友人などから続々と「スタン普」「つながりました」というメッセージが届いた。こちらから送信したわけでもないのに、「何よ、これ?」と、SNSなどに詳しくない私はパニックになってしまった(その後、説明を受け大丈夫なことを知った)。

もうひとつの副産物があった。ゼミを欠席がちのAくん。担任の私が不在でも、学校見学などの行事に出席しないと単位を落とすことになる。実はAくんは、以前の現場見学の時に、待ち合わせ場所を間違ひ、「もういいや」とあきらめて帰ったことがある。また、朝に突然「パチンコに行こう」と思い立ち、休むこともあるような衝動的なところもあった。ところが、LINEのメッセージに「既読」という、相手がそれを読んだことを示す目印になるものがあることを(その頃初めて)知った私は、

ある日「今日は必ず出席してね」とメッセージを送ってみた。すると「既読」になり、その日はきちんと出席する様子がSkypeから見られた。それ以来、これを使って病室からモーニングコール代わりにメッセージを送ることにした。教室の場所が変わり遅刻しそうになった時、「早く! 教室は二階よ」と送り、間に合った様子に安堵したこともあった。こうしてAくんは出席不足にならなかつたが、55歳になってはじめて経験する学生支援であつたと思う。しかし、スマホを見ながら声を出している時には、医師回診や検温を後回しにしてくれた病院には感謝している。

(岐阜 大学教員)